



発行所 愛知県山岳連盟
 発行人 石川 富康
 編集人 中平等 新一
 名古屋市天白区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◇3月21日(土)～22日(日) 雪上技術講習会・研修会(御岳) <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>

頌春

雪稜を行く

PHOTO 中平等 新一



新しい年を迎えて

常に冷静な山登りを目指そう!!

会長 石川 富康

明けましておめでとうござ
 います。

新年の輝かしい日の出です。

今年も健やかな一年になりま
 す様に愛知岳連加盟団体の皆
 様の楽しい山登りを祈ります。

昨今は交通網が整備され便利
 になりました。国鉄の夜行列

車を利用してバスで登山口に
 着き、ベースに向けて重荷を

担ぐそんな風景も無くなりま
 した。又海外の山々ではヘリ

コプターや小型飛行機が飛び、
 BCまで、天気が良ければ簡

単に着けます。しかし山登り
 が易しくなったのではありま

せん。昨今の積雪量や雨は地
 球温暖化のためかたくさん降

り、北極点も凍らなくなりヨ
 ーロッパアルプスも氷河が後

退して毎年短くなり、キリマ
 シャロはもはや氷河が消滅

しています。昔より予測が難
 しくなっています。事故もけつ

て減っています。むしろ増
 え続けています。とくに高年

の登山者が増えています。人
 間の筋力は訓練すればいくつ

になっても発達するといわれ
 ていますが、視力、聴力等は

急速に衰えて行きます。常に

自分の健康を考えながら行動
 しましょう。

日本の山は、夏はほとんど

雪が解けてしましますが、積

雪期はどっとたくさん雪が

降り、日照時間も短かく強風

も吹きます。傾斜のあるとこ

ろは必ず雪崩がおき困難度

より危険性が増します。その様

なつらい目に合っても山は私

達を魅了し続けます。雄大さ

清潔さその魔力に惑わされ、

酔いつぶされてはなりません。

冷静な山登りをめざし常に同

行の仲間を慕い、幅広く安全

登山に心掛けましょう。又昨

年の九月初めの大雨で御在所

裏道の日向小屋が流出の危機

にあり、また藤内小屋も新増

築の中、大岩で潰されました。

両小屋の一日も早い再建を心

より願っています。岳連の北

谷小屋は高台のため流出を

まぬかれました。不幸中の幸

いです。私も御在所裏道を利用

してからも五十数年が過

ぎましたが、今迄でこんなひ

どく裏道が変わったのは初め

です。これからは自然を愛

する者として、このような事

のないことを祈ります。

南山岩場で救助講習会

負傷者の引き上げや搬送法実習

平成20年度愛知岳連「無雪期救助技術講習会」が、10月25日(土)、26日(日)の2日間、南山岩場において実施され延べ45人が参加した。

初日は、午前8時に開講式が行われ、コース別ミーティングの後、応急手当講習のため豊田北消防署へ移動して12時まで受講した。

午後は再び南山へ戻り、ザイルワーク、懸垂下降、アンカーの構築、自己脱出など指導員のコース別技術確認を行なって、宿泊地の定光寺屋外活動センターに移動する。

二日目、朝から生憎の雨となったが8時に集合し、挨拶のあと本日の講習予定や講師が紹介され、縦走コース、岩場コースに分かれ実技に入った。

救助のための搬送は、負傷者の病状を悪化させないようスピーディに行動する必要がある、これらを前提に実施された。

搬送方法は、持っている装備を搬送用を使用するため、ロープワークの練習、簡易ハーネスの作り方、ザックや雨具、ツェルト、ストックなど

用いて担架を作り搬送を行なう。一方、岩場ではアンカーの構築を大きな加重に耐えうる強固な支点を多数・加重を分散できるように作成。動滑車の原理を応用したプルアップ(吊り上げ救助)ライジングシステム、ブルダウン(吊り下げ技術)など、受講者は熱心に取り組んでいた。

また、縦走組は裏山の斜面を利用して、負傷者の引き上げ救助、背負い搬送など行なっていた。

午後3時、講習は終了し駐車場において全員が集まり、各受講者が感想を述べ、それぞれの講師から講評があつて講習会は終了した。



東屋で負傷者の搬送法実習

参加した団体は次の通り
春日井山岳会、名古屋山岳会、豊田山岳会、岡崎山岳会、GSA、アイシン精機、豊橋山岳会、トヨタ自動車、中央アルパイン、千種アルパイン、碧稜山岳会、やまびこ山想会、三河くらぶ、名古屋愛山会
(中平等新二)

講習会に参加して

講習会の継続が大切

GSA 河合 宣男

10月25、26日に南山で開催されました救助技術講習会に参加しました。初日の午前中は、豊田北消防署へ行き救命講習会に参加者全員で受講しました。人工呼吸、心臓マッサージ、AEDの扱い方などを修得しました。私自身は、



岩場での救助

2回目の受講になりましたが、前回のことが復習でき、より身に付いたかなと思います。午後からは南山に戻り、岩組と縦走組に分かれ講習が始まりました。新米の指導員としては、先輩に指導をお願いし、受講生のバックアップ役にまわり、先輩の指導のしかたなど学習させていただきました。

2日目は、予報に反して朝からしとしと雨が降り、女岩のテラスは滑りやすく、この日もバックアップ役を努めさせていただきました。介助懸垂、3分の1システム、斜張りなど沢山のメニューを実習しました。一回の受講で技術の修得は、なかなか難しいですが、受講生からも、会にかえって復習したいとの声がありました。安全で楽しい山登りをするためにも、講習会を続けていくことが大切です。

岳連傘下の沢山の人で支えあつていくことが必要と感じました。

救助の難しさ実感

名古屋山岳会 澤 巖景

講習会は縦走組、岩登り初、中級組の3つに分かれて行つたが、私は縦走組に参加した。怪我人や意識不明者の搬送方法からロープの結び方、人の

名古屋・伏見 長者町の山用品専門店

MOUNT & OUTDOOR GOODS PRO SHOP
ステラアルピーナ
(旧シャツパーム)

名古屋市中区錦二丁目5-31 長者町相互ビル2F ☎052-231-0739
営業時間/11:00-8:30pm(日曜日は7:00pm迄)

名古屋駅前の山とスキーの専門店

駅前アルスス

〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目11-27
(第2トヨタビル東館1F)

TEL 052-565-1417